

【個品別検証の場合】  
検証申請予定日の5営業日前までに事務局にPDFでご送付ください。

## エコリーフ環境ラベルプログラム検証申込・申請書

<本ページ(表紙)は、関係者(事務局、委員、検証員)情報共有用資料となります>  
の部分は検証申請時までに記入してください。検証申請予定の連絡時(申込時)には不要です。

検証申込日	2021年7月1日	本シートをPDF送付する「検証申込日」を記入してください
検証申請予定日	2021年7月8日	データの入った本エクセルファイル(検証申請書一式)の送付予定日を記入してください
※検証申請日	年 月 日	実際の検証申請書一式の提出日を記入してください。

### 1) 検証について

申請種類	宣言種類	公開情報の言語	※チェックリストでの自己確認の有無
新規	CFPとエコリーフ	日本語のみ	提出前に自己確認を行いました
※添付資料提出の有無	※添付資料の内容		「チェックリスト」シートの「チェック」欄にご記入ください。
無			
その他の連絡事項(希望スケジュール等)			他規格への対応
			なし

### 2) 申請内容について

PCR番号	PCR名	鉄鋼系PCR? (YES/NO)
PA-773000-AE-02	食器(陶磁器製品および合成樹脂製品)	NO
製品名		同時申請 (同時申請ありの場合)申請製品数
プラスチック皿(中皿) ABC		あり 2

### 3) 検証申請者について

連絡先等				
ふりがな 事業者名	にほんかせい 日本化成株式会社			
部署名等	環境部			
役職等				
ふりがな 氏名	ふりがな 氏	さんぎょう 産業	ふりがな 名	たろう 太郎
e-mailアドレス	<a href="mailto:sangyou@nihonkasei.jp">sangyou@nihonkasei.jp</a>			
電話番号 ※半角	0545-01-2345			
所在地	〒 ※半角	416-0900	都道府県	静岡県
	市区郡以下	富士市富士1丁目-1		
	ビル名等			

### その他連絡先 / 内容についての問合せ先が検証申請者と異なる場合のみご記入下さい。

事業者名				
部署名・役職等				
ふりがな 氏名	ふりがな 氏		名	
e-mailアドレス				
電話(固定・携帯) ※半角				
所在地	〒 ※半角		都道府県	
	市区郡以下			
	ビル名等			

### 連絡担当 / 連絡先を2か所記入した場合は、どちらが連絡担当かご記入ください。

事業者名/氏名	
---------	--

#### 【注意事項】

・最新版の認定PCRに基づいて計算されていることを必ずご確認下さい。

会社名	日本化成株式会社	製品名	プラスチック皿（中皿）ABC
PCR名	食器（陶磁器製品および合成樹脂製品）		

申請対象製品のライフサイクルフロー図を記載する。

PCR付属書を元に作成した申請製品の  
ライフサイクルフロー図を貼付

フロー図の中間製品やプロセス等に番号を付し、  
「入力&結果impact」シートの「プロセス番号、プロセス名」の欄および  
「データの根拠」シートの「(必須)関係するエビデンス資料(データ出典の名称、データ作成者の名称、社内情報システムの名称等)、説明資料の名称、プロセス番号」の欄にそれぞれ番号を記載すること。



**データの根拠**

活動量及び原単位のデータ入手方法、計算式、式の説明、データ収集期間、等

非公開資料

会社名 **日本化成株式会社** 製品名 **プラスチック皿(中皿) ABC**

参照番号	活動量 /原単位	(必須) データ入手方法、計算式、式の説明、データ収集期間、等	(必須) 関係するエビデンス資料(データ出典の名称、データ作成者の名称、社内情報システムの名称等)、説明資料の名称、プロセス番号
A1	活動量	<p>製品の仕様書における各種部材の重量構成比を把握する。キャップ部材の重量は4.545kgであった。(A2と異なるデータ入手方法を採用するのは、適用される商品が限定されている部材の場合、全商品で配分計算を行なうA2の手法が適していないため。)</p> <p>・社内生産管理システム●●から、キャップの射出成型の際の端材の発生割合を把握する。端材発生割合は投入樹脂量に対し10%である。</p> <p>・計算式:投入樹脂重量×キャップ部材の重量×(1+端材発生割合) 5.00(kg)=4.545(kg)×1.1</p>	<p>プロセス① 製品仕様書 社内生産管理システム●●</p>
A2	活動量	<p>***工場における年間投入量を一次データで収集し商品間で生産個数で配分。</p> <p>・データ収集期間:1年間(2019年4月~2020年3月)</p> <p>・各種伝票よりデータ収集</p> <p>・配分方法:個数配分。</p>	<p>プロセス① ***工場伝票集</p>
A3	活動量	<p>・社内生産管理システム●●から、キャップの射出成型の際の端材の発生割合を把握する。端材発生割合は投入樹脂量に対し10%である。</p> <p>・廃棄物マニフェスト伝票から、この端材の処理方法を把握する。端材の80%はリサイクル業者が引き取り、20%は廃棄物として焼却処理される。</p> <p>・計算式:投入樹脂重量×端材発生割合×リサイクル率 5(kg)×0.1×0.8=0.4(kg)</p> <p>・データ収集期間:1年間(2019年4月~2020年3月)</p>	<p>プロセス② 社内生産管理システム●● マニフェスト伝票</p>
A4	活動量	<p>・社内生産管理システム●●から、キャップの射出成型の際の端材の発生割合を把握する。端材発生割合は投入樹脂量に対し10%である。</p> <p>・廃棄物マニフェスト伝票から、この端材の処理方法を把握する。端材の80%はリサイクル業者が引き取り、20%は廃棄物として焼却処理される。</p> <p>・計算式:投入樹脂重量×端材発生割合×焼却処理率 5(kg)×0.1×0.2=0.1(kg)</p> <p>・データ収集期間:1年間(2019年4月~2020年3月)</p>	<p>プロセス② 社内生産管理システム●● マニフェスト伝票</p>
A5	活動量	<p>製品の仕様書における各種部材の重量構成比を把握する。キャップ部材の重量は4.545kgであった。</p> <p>・PCR原材料調達輸送のシナリオより「10トントラック、積載率25%」を使用</p> <p>・キャップ生産工場から製品生産工場までの距離はgoogleマップから算出。50kmであった。</p> <p>・計算式:キャップ部材の重量×距離 0.227(km)=4.545(kg)/1000(kg/t)*50km</p>	<p>プロセス③ 製品仕様書 PCRシナリオ googleマップ</p>
...	...		...
B1	原単位	<p>原単位については、当てはめに注意が必要なものの、また、「原単位コード一覧」に掲載されていないものを使用した場合に、その説明を記載してください。</p>	

検証において、「入力&結果impact」のシートと、この「データの根拠」シートを使用して、妥当性の確認を行うことから、この部分の記述は丁寧に行ってください。  
なお、重複する記述を繰り返すのは避け、参照番号を統一するなどの工夫をしてください。

「フロー図」で記載したプロセスの番号を本欄に併せて記入すること。

**データの根拠：算定内容以外で宣言に記載する内容のデータ入手方法・エビデンス等**

区分	(必須) データ入手方法、計算式、式の説明、データ収集期間、等	(必須) 関係するエビデンス資料(データ出典の名称、データ作成者の名称、社内情報システムの名称等)、説明資料の名称、プロセス番号
その他の環境関連情報		
有害廃棄物(エコリーフのみ)		
有害物質(エコリーフのみ)		

入力&項目別影響評価結果

会社名	日本化成株式会社
製品名	プラスチック皿(中皿)ABC

stage名称↓
①原材料調達
②生産
③流通
④使用・維持管理
⑤廃棄・リサイクル

活動量の区分	
1次	1次データのみで構成された活動量
その他	1次データと2次データの組合せで構成された活動量

数値は有効数字3桁、指数表示で記入してください(特に、他のExcelファイル等からコピー&ペーストする際の入力時は注意してください)。

算定ツール使用申請書の「原単位コード一覧」から該当の「原単位コード番号」を選択して記載してください。(区分、原単位名、単位は自動表示されます)

計	気候変動 IPCC 2013 GWP 100a
①原材料調達	1.07E+01 kg-CO2eq
②生産	3.04E+00
③流通	1.62E-01
④使用・維持管理	6.07E+00
⑤廃棄・リサイクル	5.95E+00

#	stage	サブタイトル	プロセス番号、プロセス名	活動量					原単位					気候変動 IPCC 2013 GWP 100a					
				区分	項目名	数値	単位	参照番号	原単位コード番号	区分	原単位名	単位	参照番号	備考	特性化係数	結果	段階別寄与率	全LCIに対する寄与率	
1	①原材料調達	キャップ	①キャップ成型	1次	耐久型PP	5.00E+00	kg	A1	173518000	基本	ポリプロピレン	kg				1.07E+01	9.52E+00	89.22%	26.80%
2	①原材料調達	キャップ	①キャップ成型	1次	電力	1.24E+00	kWh	A2	331111014	基本	電力、一般電気事業者10社平均, 2014年度	kWh							
3	①原材料調達	キャップ	②キャップ端材処理	1次	PP端材(リサイクル分)	4.12E-01	kg	A3	511100214	基本	フラフ・ペール状の使用済み その他プラスチック製品	kg							
4	①原材料調達	キャップ	②キャップ端材処理	1次	PP端材(焼却処理分)	1.11E-01	kg	A4	852212231	基本	焼却処理, 産業廃棄物, 廃プラスチック	kg							
5	①原材料調達	キャップ	③キャップの生産工場までの輸送	その他	キャップの輸送量	2.27E-01	tkm	A5	441111405	利用	トラック輸送, 10トン車, 積載率25%のサービス	tkm							
6	②生産																		
7	②生産												B1						
8	②生産																		
9																			
10																			
11																			
12																			

「フロー図」で記載したプロセスの番号を「プロセス名」の欄に併せて記入すること。

「参照番号」欄には、「データの根拠」シートの参照番号を記入してください。「データの根拠」には、活動量を求めた詳細情報等を記入してください。

各項目の  
・結果  
・段階別寄与率(%)  
・全ライフサイクルに対する寄与率(%)  
が影響領域ごとに表示されます。



エコリーフ

タイプⅢ環境宣言 (EPD)

登録番号： JR- (申請時は記入不要です)

エコリーフ環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区鍛冶町2-2-1

https://ecoleaf-label.jp

登録事業者名  
(正式名称 日本語/英語)

登録製品名称  
(日本語/英語)

この製品名称がウェブサイトの一覧に表示されますので、具体的に製品を特定できる名称とし、英語の製品名称も併せて記載してください。  
型番など、製品名から製品が連想できない製品の場合、読み手にわかりやすいよう、製品に関する補足説明をつけてください。

- ・型番の前に一般の方にわかる製品ジャンルを記載する  
例:「学校給食用食器 ABC-XYZ」
- ・ある1つの製品orサービスについて、条件の異なる複数の宣言を申請する場合には、製品名称の後ろに、算定条件を()で記載する。  
例:「学校給食用食器 ABC-XYZ(100回使用)」

シート1の記載内容はCFPも同様です。

算定単位

算定対象段階

- 最終財
- 中間財

製品の型式、主要仕様・諸元

型式：

「PCRレビューの実施」の記載事項は、使用したPCRの表紙に記載されていますので、転記してください。  
所属を記載する際は”所属”という文字は取ってください

問い合わせ先

宣言への問い合わせに対応できる連絡先を記載してください。

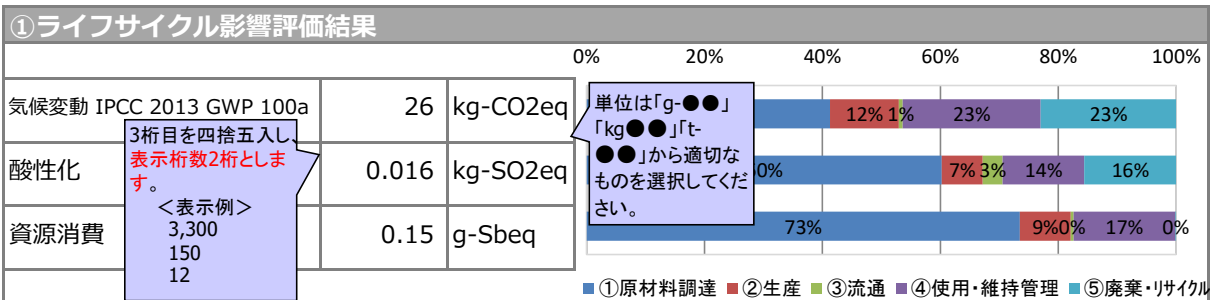
登録番号	JR- (申請時は記入不要です)
適用PCR番号	PA-773000-AE-02
PCR名	食器 (陶磁器製品および合成樹脂製品)
公開日	xxxx年YY月ZZ日 (申請時は記入不要です)
検証合格日	xxxx年YY月ZZ日 (申請時は記入不要です)
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV- (申請時は記入不要です)
検証有効期間	#VALUE!
PCRレビューの実施	
認定日等	●●●●年 ●●月 ●●日
委員長	●● ●● (所属 )
第三者検証者*	
外部検証員	●● ●●

ISO14025に従った本宣言及びデータの独立した検証

- 内部
- 外部

\*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

登録番号： JR- (申請時は記入不要です)



内訳	項目	単位	合計	①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO <sub>2</sub> eq	2	9E+00					
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1	8E-09					
酸性化	kg-SO <sub>2</sub> eq	1	4E-03					
都市域大気汚染	kg-SO <sub>2</sub> eq	8	3E-04					
光化学オキシダント	kg-C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> eq	2	9E-07					
有害化学物質(発がん性)	kg-C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> eq	6	3E-07					
有害化学物質(慢性)	kg-C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> eq	8.8E-06	1.3E-06	2.5E-06	7.8E-12	5.0E-06	3.4E-08	
水生生態毒性	kg-C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> eq	1.3E-02	2.0E-03	3.8E-03	1.2E-03	7.1E-03	5.2E-05	
陸生生態毒性	kg-C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> eq	3.3E-01	4.9E-02	9.2E-02	2.1E-02	7.1E-02	5.2E-03	
富栄養化	kg-PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> eq	3.6E-07	1.1E-07	2.0E-14	1.1E-07	7.1E-08	2.5E-08	
土地利用(維持)	m <sup>2</sup> /年	8.2E-02	5.2E-02	5.2E-03	1.4E-02	2.7E-02	2.5E-02	
土地利用(改変)	m <sup>2</sup>	4.4E-03	3.8E-03	1.0E-04	2.7E-03	2.5E-03	2.5E-03	
資源消費	kg-Sbeq	1.5E-04	1.1E-04	1.3E-05	6.7E-07	2.5E-05	2.5E-07	

①ライフサイクル影響評価  
気候変動 IPCC2013GWP100aを含む3項目以上を表示します。PCRで表示項目が指定されている場合は、PCRの要求に従ってください。それ以外は、任意で表示/非表示を選択できます。  
※ISO21930に準拠させる場合は、気候変動/オゾン層破壊/酸性化/富栄養化/光化学オキシダント が必須開示となります。

・算定対象外の段階は「-」、環境負荷計上の無い段階は「0」と記載してください。  
・内訳部分の単位・数値は変更しないでください

### ② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	値	単位
非再生可能資源	4.9E-02	kg
非再生可能エネルギー	1.1E+01	kg
非再生可能エネルギー	1.9E-21	MJ
再生可能資源	2.2E-02	kg
再生可能エネルギー	6.2E+00	MJ
淡水の消費	1.1E+01	m <sup>3</sup>
排出, CO <sub>2</sub> ; 化石資源由来, 大気, 不特定	2.5E+01	kg
資源, 原油, 44.7MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	7.3E+00	kg
排出, 揮発性有機化合物, 大気, 不特定	2.0E-11	kg

### ③ 材料及び物質に関する構成成分

項目	値	単位
0		%
10		%

③材料及び物質に関する構成成分  
「単位」はPCR13-4の規定や製品特性に基づいて、%か物理量を選択して記載してください。  
値は「製品構成図」シートから引用していますので、単位に合わせて参照先を変更してください。  
%の場合は原則として、合計値が100%となるように記載してください。  
製造上の機密情報に関わる場合は、<●% 等の記載を用いても構いません。

### ④ 廃棄物関連情報

項目	値	単位
有害廃棄物	0.00E+00	kg
無害廃棄物	5.5E-02	kg
一般廃棄物 埋立物	0.0E+00	kg
産業廃棄物 埋立物	5.5E-02	kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

### ② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

「JR-06-0X 算定・宣言規程 2.2.3.⑤算定結果に関する追加情報」および「該当PCR 13-7 追加情報」に記載されている要求事項に従って2項目以上を記載してください。

【推奨表示】(ISO21930:2007の推奨開示項目です)  
非再生可能元素・非再生材料(kg) / 非再生可能エネルギー(MJ) / 再生可能材料・元素(kg) / 再生可能エネルギー(MJ) / 淡水消費(m<sup>3</sup>)を表示します。  
001515000 資源, 地下水, 水圏, 取水  
※淡水の消費はPCRで定義が異なる場合があります。項目を確認の上表示してください。

### ⑤ 算定結果に関する追加情報

⑤算定結果に関する追加情報  
「JR-06-0X 算定・宣言規程 2.2.3.⑤算定結果に関する追加情報」および「該当PCR 13-7 追加情報」に記載されている要求事項に従って記載してください。

### ④ 廃棄物関連情報

ISO21930準拠の場合は、有害/無害廃棄物を表示させ、一廃/産廃埋立物の欄を非表示にしてください。ISO21930準拠でない場合は、有害/無害廃棄物非表示として構いません。



エコリーフ

タイプⅢ環境宣言 (EPD)

登録番号：JR- (申請時は記入不要です)

エコリーフ環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区鍛冶町2-2-1

<https://ecoleaf-label.jp>

⑥-1. その他の環境関連情報

⑥-2. 有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
-		ISO21930準拠の場合は表示必須です。 ISO21930準拠でなく、有害物質がない場合は、この項は非表示として構いません。
-		

⑦ 使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3 および エコリーフ環境ラベルプログラム登録原単位 v1.10 を使用した。

利用した二次データの種類・バージョンについて記載してください。  
「IDEA原単位」「プログラム登録原単位」のバージョンは本ファイル最初の「概要・改訂履歴」シートに記載されています。

⑧ 備考

- 改訂履歴に使用するため記載しないでください

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。  
(参照先URL : <https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)

登録番号：JR- (申請時は記





# カーボンフットプリント(CFP)

## CFP宣言

登録番号：JR- (申請時は記入不要です)

## エコリーフ環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区鍛冶町2-2-1

<https://ecoleaf-label.jp>

### ① CFP算定結果

#### 算定単位

項目	数値	単位
<b>CFP算定結果</b>	<b>26</b>	<b>kg-CO<sub>2</sub>eq</b>
内訳		
①原材料	11	kg-CO <sub>2</sub> eq
②生産	3.0	kg-CO <sub>2</sub> eq
③流通	0.16	kg-CO <sub>2</sub> eq
④使用	6.1	kg-CO <sub>2</sub> eq
⑤廃棄	5.9	kg-CO <sub>2</sub> eq
<b>数値表示</b>	<b>26</b>	<b>kg-CO<sub>2</sub>eq</b>
<b>表示単位：</b>		

単位は「g-CO<sub>2</sub>eq」「kg-CO<sub>2</sub>eq」「t-CO<sub>2</sub>eq」から適切なものを選択してください。

3桁目を四捨五入し、表示桁数2桁とします。  
<表示例>  
3,300  
150  
12

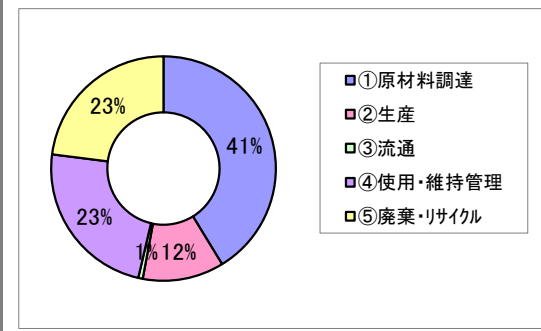
・算定対象外の段階は「-」、CO<sub>2</sub>排出のない段階は「0」と記載してください。

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

### ③ その他の環境関連情報

以下のような単位を目的に応じて事業者が選択可能  
<例>  
・製品1個あたり  
・内容量100gあたり  
・1食あたり  
・使用1回あたり

### ② 算定結果に関する追加情報



「JR-06-0X 算定・宣言規程 2.3.3.項 ②算定結果に関する追加情報、2.2.3.⑤」および「該当PCR 13-7 追加情報」に記載されている要求事項に従って記載してください。  
なお、④CFP算定結果の解釈 など、本シートに記載されている内容については検証の対象となりますので、追加情報として表示することが可能です。記述の重複を避けるため、この欄に本シートの他の情報を記載する必要はありません。

### ④ CFP算定結果の解釈

検証申請書に記載されたもの(算定に用いたデータ、算定結果)のみから第三者が見ても明言できる範囲で結果を解釈してください。

○適切な例「原料調達段階における温室効果ガス排出量が最も多くなりました。これは、購入原料である〇〇の生産に起因するものが大部分でした。ただし、原料使用量は当社データを利用していますが、原料製造時のデータは一般的な値を利用しているため、当製品素材固有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください」

○適切な例「使用段階における温室効果ガス排出量が最も多いため、使用時の省エネ性能が非常に重要な要素だと言えます。なお、使用段階使用・維持管理段階は、一般的な条件を設定して評価したため、お客様の利用条件と同じでない場合があります」

×不適切な例「一般的に〇〇製品は使用段階の影響が多いのですが、当該製品はその割合が小さいため、環境に配慮した製品と解釈されます」(検証対象外である他製品と比較してはならない。また、温室効果ガス排出量のみ算定しているため、環境に配慮した製品とは必ずしも言えない。)

×不適切な例「原材料である〇〇の寄与が大きいため、今後は〇〇など、別の材料にすることでCO<sub>2</sub>削減が期待されます」(素材変更後、使用量(活動量)が同じとは限らないため比較はできない)

×その他、不適切な例：コスト・価格に関する記載(コストは検証外のため)

### ⑤ 使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を使用した。

利用した二次データの種類・バージョンについて記載してください。  
「IDEA原単位」「プログラム登録原単位」のバージョンは本ファイル最初の「概要・改訂履歴」シートに記載されています。

### ⑥ 備考

改訂履歴に使用するため記載しないでください。

●データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。

●比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。

(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)

●製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。

登録番号：JR- (申請時は記入不要です)

## FB-08 記載例 変更履歴

バージョン	日付	内容
02	2021年7月13日	・算定ツールに対応し申請書タブに鉄鋼系PCRの欄を追加 ・エコリーフ宣言シート2の①内訳について説明追加、④廃棄物関連情報を修正
01	2021年1月14日	算定ツールFB-02-02.3に対応した記載例として公開